

白子高校 同窓会報

題字 和田吟水(順子) 高 16 回

発行 三重県立
白子高等学校同窓会

☎ 510-0243 三重県鈴鹿市白子 4-17-1
電話 059-386-0017
FAX 059-386-5510

印刷・デザイン 株式会社サラト
☎ 670-0948 兵庫県姫路市北条宮の町 172
電話 079-284-1380
<https://salat.co.jp/>

同窓会長挨拶



同窓会会長
服部 高明

河芸高女、白子高校ご卒業の同窓会の皆様方には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は母校白子高校の教育振興並びに同窓会の運営に深いご理解と温かいご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

また、昨年は100周年記念事業についても、沢山の皆様のご支援・ご協力を賜り無事記念事業を終えることができ、重ね重ね御礼を申し上げます。

さて、100周年が過ぎ次の目標は次の周年も入ってくるかと存じますが、コロナ禍で、まだ人類の英知を持ってしても出口が見えず、日々の生活においては、マスクの着用が、幼児ですらマスク着用での生活で、平時も義務となり、SNSでは、さも本当のように人心を扇動する書き込みが溢れてきて便利がストレスの増幅を図る事象も毎

日見受けられ、人々の心が荒んでいく様相を呈し、教育の現場ももしかかか聞いていますが、web会議が会議の選択肢となり、スタンダードになりつつあり、対面の会議にある種のノスタルジアを感じる私自身がいたりして、あたらしい職場環境にストレスを感じながら、不安が募る毎日をお送りのことかと存じます。

とは言うものの、

ひしひしと忍び寄ってくる Society 5.0 社会には、実際のところ期待半分・不安半分ですが、年齢に関係なく今日の課題をクリアしてこそ明日の話ができるかと思えます。

生き残る種とは、
最も強いものではない。
最も知的なものでもない。
それは、変化に最もよく適応したものである。

ダーウィンの名言より。
これに類する言葉や事例は

数々あれど、私達の祖先より日々の努力という言葉で今日にたなげてきたことに感謝し、明日の世代に引き継げることを期待しています。

最後に個々の努力によって社会が構成されるとともに、同窓会の目的は会員名簿、会報の発

刊を最大の事業としており、事業の推進は延いては母校の発展に寄与でき得るものと確信しております。

どうか今後も同窓会運営にご協力いただきますよう心からお願い申し上げます。

最後に皆様方のご健勝と益々のご活躍をお祈り申し上げます。



百周年記念式典

あいさつ



白子高校 校長
大藤久美子

同窓会の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動にご理解ご協力を賜りまことにありがとうございます。

白子高等学校に着任して以来3年になりますが、最近の2年間は新型コロナウイルス感染症に翻弄される毎日です。2020年1月から世界で流行が始まり、日本での感染拡大、4月突然の臨時休業と続き、その後も感染の波は続き、2021年9月に再びの臨時休業、10月の学校再開という状況です。

その中で2020年11月28日、白子高等学校百周年記念式典が行われましたのでご報告いたします。

百周年実行委員会と同窓会とともに準備を進めてまいりました記念行事も、コロナの波の中で執り行うこととなりました。式典当日は、ご贈りいただいた新しい校旗が華を添える中、多くのお客様をお招きすることは難しい状況となりましたが、作曲家宮川彬良さんゲストにお迎えし、簡素な中にも温かな式典を開催できました。また、多くの皆様のご協力のもと百周年記念誌も完成いたしました。大変遅くなりましたが、ご報告いたします。

が、ご報告いたしますとともにこれまでお寄せいただきましたご厚情にあらためて御礼申し上げます。

次に、このコロナ禍での学校の様子などもお伝えしたいと思えます。

2020年の臨時休業では、ICTの配備も三重県ではまだこれからという段階ながらも急ピッチでハード面の整備が進められました。そんな中、学校としては初めて、ICTを活用したオンラインによる授業に取り組みました。しかし、その道のりは平坦ではありませんでした。まずは、教員も初めて取り扱う機器やソフトを短時間で使いこなすことは難しく、また学校のハード面の整備は進んでも、生徒の各家庭の状況は様々で、なかなか思うような通信環境は整わない等、数々の課題がありました。それでも教員の懸命の努力で、紙ベースでの課題とうまく組み合わせながら、少しずつでも双方の授業を実施していきましました。SHRや生徒の状況を把握するための個人面談は、基本的に双方のオンラインで行うことができ、生徒や保護者の不安が多少は軽減された

のではないかと思います。

2か月ほどで学校は再開されましたが、その後も数度に及ぶ感染の波が続き、教育活動の継続は困難を極めました。なぜなら、もともと学校活動は、集団活動の中で学びを進めていく部分を強く持っているものであり、感染対策とは正反対の面が多くあるからです。マスクの着用や手洗いや基本的なコロナ感染対策の徹底を図りながら、密を避けつつ活気のある教育活動を実施するため、教職員はもちろん、生徒も努力をしました。学校行事においては、生徒が「自分たちが守るべきルールを自ら考えること」で、「制限の中でもなんとかできる」方法を見つけて実施できた行事もありました。そんな時には、生徒の中にある普段は見せない力に驚かされました。

2021年コロナ2年目を迎えて、少しずつウィズコロナの生活にも慣れてきた矢先に、これまでにない大きな感染拡大の波、第5波が訪れ再びの臨時休業となりました。昨年の臨時休業の反省を生かしながら、生徒に寄り添った教育活動を目指し、全校で取り組みました。今回は全クラスにパソコンを配備し、リアルタイムでの双方オンライン授業を、ほぼすべての期間で実施しました。教職員のスキルも様々ですが、できるだけ簡素な仕組みを整えることで、多くの教職員が、それぞれの持ち味を生かした授業を展開でき

きたのではないかと思います。

その後実施したオンライン授業のアンケートでも、何らかの不満があったと答えた生徒が1割程度ありましたが、通信状態の不具合などハードにかかわる部分が多く、内容についての不満はほとんどありませんでした。むしろ、オンライン授業での工夫を対面の学習でも取り入れてもらいたいという希望が多く、不慣れたオンライン授業に悪戦苦闘する教員の姿に心動かされたと答える生徒も多くありました。

また、部活動においても、コロナ禍で活動もままならない状況の中で、各部が工夫と努力を重ねてそれぞれの活動を継続しています。在宅学習中でもオンライン上にclassroomを作り、一人一人の活動の様子を共有したり、時にはオンライン上であってもともに活動したりしていました。その中で卓球部、吹奏楽部は、この困難の中でも本校の伝統を継承し、今年度も輝かしい成果をあげて全国大会に出場することにになりました。その他にも新聞部が2年連続で県最優秀賞を受賞する等活躍しています。

このように様々な場面で、制限の中でも精一杯できることを探して前向きに活動していく、そんな本校生の良さが発揮されていると感じています。今後計画している教育活動にも困難はつきまといいますが、生徒たちとともに、より良い学校を目指していきたいと思えます。



「コロナだからできない」ではなく「コロナだからこそできる」こともあると信じながら、現在も白子高等学校の生徒、教職員は歩みを進めています。

白子高等学校百周年の転機に、このような未曾有の出来事があるうとは誰も予測できませんでした。ただでさえAIの出現など、Society 5.0とも呼ばれる、予測不可能な社会を生きていく生徒たちには、大きな課題が課せられています。しかし、白子高等学校は、新たな百年に向けて、地域に根差し地域を支える生徒の育成を目指し、これまでの伝統を受け継ぎつつ、進化し続けていきたいと思います。

今後とも同窓会の皆様のご協力、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

三重県立白子高等学校100周年記念行事を終えて



同窓会副会長
村木 尚哉

日頃は、白子高等学校同窓会へのご理解とご協力ありがとうございます。

100周年記念式典を無事に開催できたのも、多くの皆様に寄付金や、温かいお言葉を頂いた事が成功に導いたと思います。今回の式典に向けて、同窓会の幹事会では、式典の4年前から準備を行ってきました。

ところが、2020年に入つて間もない1月下旬新型コロナウイルスによる休校や、緊急事態宣言と事態は急展開し100周年の開催も危ぶまれました。

ちょうどコロナ感染が少し落ち着いたら、2020年9月の同窓会役員会で開催の賛同を得て、行政指導のコロナ対策と前代未

聞の二部制で生徒は第一部の午前は1年生と3年生、二部の午後2年生と同窓会役員とPTA役員で記念式典を挙行了しました。もし、新型コロナウイルスが無かつたら、満席の会場にたくさんの方々と同窓会や一般の出席者で賑わつたと思われれます。

しかし、開催できた事に感謝し、感動のあまり涙しました。式典最初は鈴木教頭先生からの開式宣言。そして大藤校長先生の式辞に服部同窓会会長さんと落合PTA会長さんの挨拶から、白子高校生徒さんからの挨拶の後、閉式しました。

記念講演は、作曲家・舞台音楽家の宮川彬良さん、ダイナマイトしゃかりきサーカスさんと吹奏楽部さんが、コラボ演奏するところが見どころでした。

中でも、宮川彬良さんとダイナマイトしゃかりきサーカスさんが2003年から2012年までNHK Eテレで出演されてい

た時の「クインテット」オープニングテーマを歌われた時は鳥肌が立ちました。

テレビの中で活躍している人が、目の前にいる感動は今も忘れません。

式典が終わつた後に生徒さんに聞いたら、途中で眠たくなるのではないかと思つていたけど、すごく楽しくもう一度見たいと思う、音楽を通じてすごく勉強になった事等、とても好評だつたと感じます。

宮川さんがベートーベンの「運命」の曲に歌詞をつけて歌われ、運は下がらなければ上がらない事を教えられました。

今でも落ち込んだ事があると、その事を思い出します。

最後に、式典開催にご尽力下さいました、先生方や同窓会役員さんや、ご協力頂きましたPTA役員様に感謝申し上げます。



文化教養(吹奏楽)コースについて

文化教養(吹奏楽)コース主任 齋田 努

本年度より白子高校に赴任しました齋田努と大野博史です。この二名を中心に吹奏楽コースを運営しています。よろしくお願い致します。

吹奏楽コースは、コース発足から十五年が経過しましたが、コースとしての演奏機会は、少なく、吹奏楽部と吹奏楽コースの違いがよくわからないとの指摘も受けてきました。そこで、本年度より、コースの授業成果を一般の方々にも聴いていただく機会として、地域での依頼演奏を「吹奏楽コース」として活動しています。特に三年生では、「室内楽」「重奏」「音楽実践」という、楽器演奏を中心とする授業が多く設定されています。授業における成果発表としてだけでなく、地域の方々に楽しんでいただける曲目設定、演出などにも取り組みながら、より実践的な形で授業展開を行っています。

「舞台芸術」の授業で取り組んできた「創作ミュージカル」ですが、コロナ感染症の影響で二年間上演できませんでした。また、スタッフが入れ替わったこともあり、本年度より違った形で実施致します。内容としては、これまで同様、鈴鹿の偉人である大黒屋光太夫を採り上げ地域との連携を大切に実施していきますが、より授業カリキュラムと密接に結びついた形の演奏会形式として、吹奏楽、ステージドリル、アンサンブルなどを用いた

形で実施予定です。

最後に、コースと密接な関係である吹奏楽部を取り巻く環境は年々厳しくなっています。これまでと異なり、部活動ガイドライン、教職員の働き方改革などにより、平日休日とも活動における時間的制約は難しくなっています。今後、より効率的に、生徒の学習効果を上げることが、課題であると考えています。これまで以上に、様々な面で成果を残し、生徒の満足度を上げていくために、工夫を重ねていきたいと考えています。



令和3年の生活創造科

生活創造科 鈴山いずみ

同窓会員の皆様、いかがお過ごしでしょうか。ここ2年ほどは新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、様々な制限がある中でのお生活でお疲れではないでしょうか。

白子高校でも予定しておりました教育活動の中止や延期が続き、生活創造科の生徒たちは思うような高校生活を送ることができていません。卒業された方々の活動の動画、作品の静止画などをうらやましく拝見しつつ、今、できることをひたむきに取り組んでいるところでです。

さて、平成8年から行われてきた春と秋の高齢者お弁当サービスは、春季が蔓延防止措置期間にあたり、中止となりました。そこで、家庭クラブ活動として科の生徒全員で手書きによるお手紙を書きました。また、返信していただけるよう学校住所記入済みのお葉書を添えて民生委員の方々のご協力を得ながらお届けいたしました。手紙を受け取っていただいた方々から「秋のお弁当を楽しみに待っていた」とのお返事をたくさん頂戴し、生徒たちは、この秋こそ美味しいお弁当をお届けしようと思気込んでいます。

夏休み後半になって緊急事態宣言が発出される事態となり、生徒たちは2学期はじめ



ら在宅でのオンライン授業となりました。多くの制限の中で教員も、なんとか生徒一人ひとりのつく活動を、と模索しながら、デジタルコンテンツの作成や活用、インターネットでのミーティングなどを行い、各種検定の筆記対策を中心として授業を展開してきました。

宣言解除となった10月より、生徒は登校しての学校生活をやっと始めることができましたが、家庭科技術検定の実技試験は12月初旬であり、大変タイトな日程で練習しなければなりません。その間、文化祭、課題研究で勉強してきた資格の試験、そして特に2年生は延期されていた修学旅行と、内容的に大変過密なスケジュールをこなしていかなければならず、緊張感を持って日々の授業に臨んでいます。

「コロナ禍では仕方ない」から始まっておりますが、世の中全体として、インターネットを利用するコミュニケーションツールが様々な登場しました。それに伴って学校もICTを活用した授業展開が求められ、来年度から本格的に生徒自身がタブレット端末やパソコンを

操作して授業を受けるようになります。

食彩コースではICTを活用した調理実習を行うため、第1調理室がこの冬、リニューアル工事に入ることとなりました。教員の手元をズームアップしてモニターに映せるカメラを設置し、各壁面に設置された大型モニターで見ながら学べるようになります。教員としては生徒とのふれあいを大切に、個別指導を行ってきたところではありますが、新しい時代の丁寧で分かりやすい指導をするための手段としてありがたく使わせていただくと考えております。

今後の感染状況によって変更が生じることもあります。行事・イベントが生徒の成果発表の場として無事に実施できるよう準備し、制限のある中でもできることを精一杯取り組み、生徒の「今」が充実したものとなるよう努力を重ねて参りますので、ご協力のほど、お願い申し上げます。



同窓生通信

母校に想う

杉野 泰彦 (8回生)



以来、小・中・高の12年間、人生の基盤形成の、まことに大事な時期をこの鈴鹿で育てていただいた。ここは、私にとって大恩の天地なのである。そして、この地で出会えた人々との縁、絆は何物にも代えがたい生涯の宝となっている。

昨年、わが母校、白子高校は創立100年を迎えたと言う。敗戦・復興・激動の経済など、荒々しい風雪に立ち向かって刻んだ偉大な年輪である。何と誇らしく何と嬉しいことだろう。

ふるさとは遠くにありて思うものと詠った詩人がいる。遠く離れて、ふるさとを想い涙する人にとっても、温かい伊勢ことばに包まれながら人生のドラマを生き抜く人々にとっても、ふるさとは有難いものである。自分を育んでくれた原点だからであるろう。

私は6才のとき、西宮の甲子園から父の実家である鈴鹿に帰ってきた。商社勤務の父が、出張先の中国の地で兵隊に現地応召されたからである。

しかし、私にとっては、期せずして人生のベクトルが大きく変わってしまった時期でもあった。

入学して間もなく在田先生に呼ばれた。威厳のあるギロツとした目で睨まれて「野球部に入らんか。」と誘われたのである。典型的な野球少年であった。敗戦後、平和を謳歌するように大流行した野球ブーム。その真つ只中で育った。川上・青田に憧れ、画用紙に肖像画を何枚も描いた。磯山の宮さんは、我ががフロンチャイズ球場となった。布製のグローブを大事に抱えて宮さんに集まると厳しい監督がいた。森川満という名指導者なのだが、硬球を使つての全力のキャッチボール。涙をこらえて腕を突き出した。先日、電話をいただいて知つたのだが、森川さんは白子高校3回生。1学年次から受け入れられた最初の学年とのことだった。

天栄中学に進んでも、当然、みんな揃つて野球部に入った。前田肇君はエース。前田正巳君がキャッチャー。草野靖生君はレフト。私はファーストで4番、肩は弱いがスラッガーであった。それで在田先生に呼ばれたのである。ところが、困つたことが起きていた。中3の秋にツベルクリが陽性になつてしまったのである。レントゲンを撮つたところ、肺門浸潤が疑われるという。大好きな野球がドクターストップとなつてしまつたのだ。

「捨てる神あれば、拾う神あり」という。中学卒業の春、音楽の中野先生から、突然、「三重大学の鈴木寛先生を紹介してあげる。ピアノをやつてみたら？」と声を掛けられたのである。勿論、家にピアノなどある筈もない。しかし、なぜか母は乗り気であった。娘時代に叶わなかつた

夢を私に託したかったらしい。かくて、白子高校に入学と同時に野球からピアノに転向することになってしまったのである。それは全く初心者のメソッドから始まった。友人関係は変わらないものの、私の高校生活は、幾分異端を強いられた。芸術選択は音楽を選択したのだが、9名中男は私ひとりだった。

でも、岩崎先生は魅力的な授業をしてくださったし、担任の鈴木暢先生はご自分の蔵書から、大切であったろうMOZARTの歌曲集を下さり励ましてくださった。実に有難い師の恩である。

音楽に夢中になっていくうちに、アツという間に時が過ぎ、高3の夏休みも終わってしまったのである。目の前に急に進路問題が重くのしかかってきた。一般的な進路に戻るには時が遅すぎた。そんな時、鈴木寛先生から話をいただいた。「息子は国立音大の付属高校を受験する。君は国立音楽大学を受けるといい。しか

し、ピアノ専攻では君のスタートがあまりにも遅すぎる。教育音楽で受けなさい」と。急きよ進路決定である。必死に受験勉強に取り組んでいったものの、正直、五里霧中。合格するとも思えない。願書を取り寄せた時、母が言った言葉が未だに忘れられない。「東京の有名な音大なんて高嶺の花もいとこや。落ちるに決まっている。しかし、どうせ落ちるなら、みんなに認めてもらえるような落ち方をしよう!」と。結局、全受験生の中から定員3の特待生希望選考で受験。ところが、まさか、「特待生合格」の奇跡が起きてしまった。昭和33年春、晴れて私は母校を卒業させていただいた。

大学卒業後、東京混声合唱団に入団した。岩城宏之・山本直純・若杉弘・小澤征爾など、錚々たる若手の実力者たちに大いに学んだのは貴重な財産である。演奏会やオペラ、TVで活躍もできた。岩城宏之、山本直純と東混のメンバーで野球チームを組

み世田谷のグラウンドで試合をしたのは、とりわけ思い出深い。軟球で打った特大ホームランで株を挙げられたのは「宮さん」の特訓の賜物であろう。畏敬する2年先輩の小林良輔さんに誘われてミュージカル「大黒屋光太夫」をいつも鑑賞している。母校大発展の証が味わえるのが何よりの醍醐味である。懐かしい先生方もかけがえない友人も随分亡くなられた。時の流れとは言え寂しい限りである。星となり風となつて母校を見守っておられるのだろう。

人類の歴史は今大きな転換期を迎えている。時代がいかに苦境に陥ろうと若人こそ希望である。青年ほど大切な存在はない。人材城・白子高校よ盤石たれ!

時々、恩師・波多野幸子先生にお会いする。実に若々しい。瞬時に昭和30年の白子高校に引き戻される。こんな嬉しいことはない。



混声合唱を指揮する筆者



東混の友とスタジオで

母校への貢献

鈴鹿医療科学大学2年 鈴木 茉央

鈴鹿医療科学大学2年 安藤 采夏

私は約1年半前に白子高校を卒業し、現在は大学でリハビリテーションについて学んでいます。高校時代はダンス部に所属し、3年生の時に部長を務めていました。部活動では生徒が主体となって活動することが多かったため、色々な経験を積むことができませんでした。この時期に人前で話すという機会が多かったことが大

学に入ってから役に立っているように感じます。勉強面では、テスト前になると放課後や休日に教室を利用して勉強をすることが多く、そのような環境を整えていただいていた当時の担任の先生や学年の先生方には感謝しています。

私は現在、大学2年になりましたが、私たちが大学に入学するのと同様に同時期に新型コロナウイルスの流行が始まったため、思い描いていた

大学生活とは異なる日々を過ごしています。講義の大半はリモートでの受講となり、対面講義は一部のみのため、友人ともなかなか会うことができません。そのため、大学生活やその後の将来について不安なことも沢山あります。しかし、白子高校での経験を活かして、自主的に活動しながら成長できた部分もあると感じています。これからも、白子高校で学んだことを忘れず、私らしい道を邁進していきたいと思えます。

(鈴木)

私は2020年度の白子高校卒業生で、今は大学2年生です。

高校生活での一番の思い出は、修学旅行です。私たちの学年では、修学旅行での夕食が終わった後、各部署やクラスでの出し物がありました。そこで私も所属していたダンス部と、担任の先生たちでダンスを踊ったことが高校生活で最も印象に残っています。ほかにも文化祭では、吹奏楽部の演奏、文化部の出し物、1組服

飾コースのファッションショー、各クラスでの出し物など白子高校で見ることができないものがたくさんあり、とても楽しかったことを覚えていています。

私は今大学2年生ですが、大学には新型コロナウイルス感染症の影響でほとんどいけていない状態です。実習やテストのときだけ登校となったので、同じ学科の人たちとはあまり交流ができていません。しかし、オンライン授業という形でそれぞれの小規模グループでのディスカッションができるため、全く交流ができません。ということではありませんでした。自分が想像していた大学生活とは違ったものですが、今は充実した大学生活を送っています。(安藤)



私たち2人は、高校卒業後もアルバイトとして白子高校に関わらせていただいています。昨年の5月頃に3年生の時の担任の先生からアルバイトのお話をいただき、SSS(スクール・サポート・スタッフ)として働くようになり、約1年が経過しました。主な仕事内容は校内の消毒作業です。平日の毎朝7時30分から、本館1階〜3階の教室や特別棟、各階のトイレや廊下の窓枠などを中心に消毒をしています。暑い日や大雨の日などの作業は大変ですが、お世話になった母校に貢献できていることに嬉しく思います。また、新型コロナウイルスの影響で活動の幅が制限され、大学でのボランティア活動などにも参加できない状況であったため、このような貴重な経験をさせてもらえることに感謝しています。このような状況ですが、在校生の皆さんには、安心して楽しい高校生活を送っていただきたいため、SSSとして私たちにできることはこれからも精一杯取り組んでいきたいと考えています。

(鈴木・安藤)

白子高校生 頑張っています

男子卓球部



私たち男子卓球部は少人数ではありますが、幼い時から競技を始め、厳しい練習に取り組み実績を積んだ選手が集まる少数精鋭だと自負しています。白子高校を志した動機も、全国大会出場のみならず全国大会上位進出を目指す環境が整っていたからです。選手それぞれの意識も高いので、厳しい練習に積極的に取り組む姿勢で互いに切磋琢磨しています。

その結果として今年度も、県予選で優勝してインターハイに団体戦、そして個人戦のほんどを白子高校で占めることができました。団体戦では上位進出はなりませんでしたが、個人戦で強豪選手を倒して勝ち上がった選手もいました。

しかしここにたどり着くまでは苦難の道が続きました。新型コロナウイルスの影響で昨年度はインターハイを始め多くの大会が中止となり、昨年度卒業の



先輩方は最後のインターハイでの集大成を見せる場もなく引退を余儀なくされました。私たちの代になり苦しみながら予選を突破しても、全国大会が中止になるのではといったコロナの陰に怯えながら日々の厳しい練習に取り組むのは本当に苦しいものでした。学校が休校となったオンライン授業になったりと、勉強も部活動もままならない日が続きました。それでも部員全員でSNSを通して励ましあい、先生から指示されたトレーニングの動画を共有するなどして乗り越えてきました。

コロナに苦しめられた3年間でしたが、それによって「大好きな卓球ができることのありがたさ」を知ることができました。以前は当たり前だった部活動や公式戦に参加することが叶わなくなつたことで、かえってそれまでより心を込めて練習に取り組み、最後まで諦めることなく公式戦に臨めるようになりました。コロナはまだまだ完全収束とはいきませんが、この経験は決して無駄なことばかりではないと思います。

このコロナ禍での経験をもち利用して、卓球部の最終目標である「卓球を通して社会で成功するためのノウハウを身につける」ことを卒業まで追求して達成できるような精進を続けようと思えます。

吟詠剣詩舞



加藤 凜

私は三重県立白子高等学校の3年生の加藤凜です。子どもの頃から剣詩舞と詩吟を習っています。

始めたきっかけは祖母が剣詩舞と詩吟をしていたからです。



幼い頃は、祖母の練習姿を見たり、真似をしたりし、扇子がもちや代わりでした。4歳くらいの時に祖母と一緒に地区の文化祭に出ました。まだ「緊張」というのがわからず楽しんで踊りました。その時の舞台に出る「楽しさ」が忘れられず練習に通うようになりました。

高校生活との両立はとても大変でしたが、どちらも諦めず努力してきました。しかし、新型コロナウイルスの感染が広がり、お稽古の回数が減ったり、休みがつづく、今まで経験したことがない状況に不安になりました。それでも剣詩舞と吟詠の基本となる体力を落とさないためにも自宅で祖母とともに必死に練習をしました。感染拡大が少し収まり、お稽古が再開したと

きは本当に嬉しい気持ちでした。高校3年生で初めて全国高等学校総合文化祭に出場しました。この文化祭は毎年開催場所が変わり、今回は和歌山県で開催されました。私は吟詠剣詩舞部門で剣詩舞と詩吟に出させていただけました。感染対策のため入場制限が行われたことで観客も少なく残念な部分もありましたが、全国の舞台は、とても良い経験になりました。

卒業後は、就職します。就職すると忙しくなりお稽古に通うのも難しくなるかもしれませんが、剣詩舞と詩吟を続けていきたいとおもっています。4歳の頃からずっと祖母が私に練習する姿をみせてくれたおかげで今まで続けることができました。

また、他の家族にもずっと応援してもらったので、ここまで来ることができました。優しい先生、優しい先輩、仲間がいたからこそ継続することができています。本当に周囲のすべての人に感謝の気持ちでいっぱいです。剣詩舞も詩吟もこれで完成という終わりはありません。これからも今のこの気持ちを忘れずにより高みを目指して日々努力をしていきたいと思えます。



お知らせコーナー



本年度の同窓会総会について



本年度の同窓会総会につきましては、同窓会役員会で実施の検討の結果、コロナ禍のため書面決議とさせていただきます。

P11～P13までの書面決議案をご覧ください、ご意見等ありましたら、令和4年1月14日までに、ご連絡ください。ご意見なき場合は賛成とさせていただきます。結果につきましては、白子高校ホームページをお借りしお知らせいたします。

【白子高校同窓会事務局 059-386-0017】

卒業証明書・成績証明書等の発行について

卒業証明書等の交付申し込みは、月～金曜日の8時20分～16時50分に、まず白子高校事務室に電話で問い合わせてください。名前、卒業年度等をお聞きして、作成、発行いたします。その際、手数料として1通につき150円の三重県証紙(三重県内の銀行で発行)が必要です。

また、成績証明書は卒業後5年間に限り発行しますが、それ以後は単位修得証明書の発行となり、いずれも150円分の三重県証紙が必要です。

いずれの証明書もすぐに発行できませんので、事前に下記までご連絡ください。

【白子高校事務室 059-386-0017】

屋上看板が設置されました。

「白子高校がどこにあるか、よくわからない」というような声を聞くことがあります。国道23号線を通過すると、学校があるのはわかりますが、何という学校なのかわからないということだとも思います。そこで、校舎屋上に看板を設置いたしました。



総会書面決議(案)

1. 議事

- (1)事業報告 (令和元年11月16日～令和3年11月30日)
- (2)決算報告
 - ① (平成31年4月1日～令和2年3月31日)
 - ※会計監査報告
 - ② 百周年記念事業 補正予算案 決算
 - ※会計監査報告
- (3)役員(案)
- (4)事業計画(案)
- (5)予算(案)

◆「事業報告」(令和元年11月16日～令和3年11月)

- ① 総会 令和3年12月 (書面決議)
- ② 同窓会入会式 令和2年2月28日(金)
 - 令和3年2月26日(金)
- ③ 役員会 令和2年4月25日(土)
 - 8月8日(土)
 - 9月26日(土)
 - 11月14日(土)
 - 令和3年7月10日(土)
- ④ 同窓会報の発行 令和3年12月(第19号)
- ⑤ 同窓会優秀模範生徒表彰
 - 令和元年度 クラス推薦12名、部活動推薦21名の計33名
 - 令和2年度 クラス推薦14名、部活動推薦21名の計35名
 - 対象生徒には、表彰状と粗品を授与
- ⑥ クラブ活動全国大会出場の援助激励
 - 令和元年度 卓球部 (3万円)
 - 令和2年度 卓球部 (3万円)
- ⑦ 創立百周年記念事業
 - 記念式典 令和2年11月28日
- ⑧ 屋上看板設置

同窓会役員(案)

会 長	服 部 高 明	(28回)
副 会 長	村 木 尚 哉	(40回)
副 会 長	久 畑 年 生	(41回)
書 記	達 知 利 雄	(36回)
会 計	後 藤 真 吾	(39回)
会計監査	山 鹿 昇	(16回)

会計監査	川 北 秀 幸	(17回)
常任幹事長	岩 崎 功	(7回)
常任幹事	奥 野 静 生	(18回)
常任幹事	日 置 恒 文	(19回)
常任幹事	岡 本 晃 宏	(29回)
常任幹事	岡 本 昌 宏	(33回)

常任幹事	加 藤 丈 晴	(50回)
常任幹事	西 尾 佑 輔	(61回)
顧 問	村 上 悠 馬	(52回)
顧 問	森 雅 幸	(56回)

◆「事業計画(案)」(令和4年度、5年度)

- ① 同窓会報(第20号)の発行(令和5年10月予定)
- ② 学校教育活動等に対する援助
 - ・優秀模範生徒表彰(継続)
 - ・その他
- ③ クラブ活動全国大会・国際大会出場援助激励
- ④ その他の事業に協力

予算 創立100周年事業 (平成31年4月1日～令和3年3月31日)

収入

(円)

科目	当初予算額	R元決算額①	R2執行済額②	R2執行見込③	①+②+③	補正額	補正後額	備考
寄付金(同窓生)	10,000,000	3,978,921	200,261	0	4,179,182	△5,821,000	4,179,000	白子地区民生委員寄付10,000円
創立百周年記念事業繰入金	1,000,000	0	0	1,000,000	1,000,000	1,584,000	2,584,000	
諸収入	0	0	18	0	18	0	0	利子18円
計	11,000,000	3,978,921	200,279	1,000,000	5,179,200	△4,237,000	6,763,000	

支出

科目	当初予算額	R元決算額①	R2執行済額②	R2執行見込③	①+②+③	補正額	補正後額	備考
記念誌	2,800,000	0	0	2,800,000	2,800,000	0	2,800,000	
記念品	750,000	789,982	0	0	789,982	40,000	790,000	マフラータオル 1,400枚
記念品	135,000	131,868	0	0	131,868	△3,000	132,000	クリアフォルダー 3,700枚
ロゴマーク	53,000	52,324	24,110	0	76,434	24,000	77,000	ロゴマークデザイン委託
ポスター	100,000	87,480	0	0	87,480	△12,000	88,000	A2:100枚、A3:100枚
記念式典講演会等	1,200,000	37,461	15,030	1,600,000	1,652,491	500,000	1,700,000	打合せ旅費37,461、吹奏楽部と音楽家による演奏と講演会1,500,000、消毒用15,030、生花11,000、記念品等
記念式典パンフ	120,000	0	0	120,000	120,000	0	120,000	
会場費	700,000	0	0	700,000	700,000	0	700,000	会場使用料、音響・照明委託等
記念品袋	100,000	0	0	0	0	△100,000	0	
案内状(郵送、印刷)	150,000	0	630	0	630	△149,000	1,000	
記念品郵送費	100,000	45,738	21,458	32,820	100,016	5,000	105,000	切手45,738、記念品・記念誌送料
来賓リボン	5,000	0	0	0	0	△5,000	0	
予備費	4,787,000	0	0	250,000	250,000	△4,537,000	250,000	
小計	11,000,000	1,144,853	61,228	5,502,820	6,708,901	△4,237,000	6,763,000	

決算報告 創立100周年事業 (平成31年4月1日～令和3年3月31日)

収入

(円)

科目	予算額	R元決算額	R2決算額	計	差引	備考
寄付金(同窓生)	4,179,000	3,978,921	309,779	4,288,700	△109,700	
創立百周年記念事業繰入金	2,584,000	0	1,799,013	1,799,013	784,987	
諸収入	0	6	17	23	△23	利子
計	6,763,000	3,978,927	2,108,809	6,087,736	675,264	

支出

科目	予算額	R元決算額	R2決算額	計	差引	備考
記念誌	2,800,000	0	2,668,380	2,668,380	131,620	250冊
記念品	790,000	789,982	0	789,982	18	マフラータオル 1,400枚
記念品	132,000	131,868	0	131,868	132	クリアフォルダー 3,700枚
ロゴマーク	77,000	52,324	24,110	76,434	566	ロゴマークデザイン委託
ポスター	88,000	87,480	0	87,480	520	A2:100枚、A3:100枚
記念式典講演会等	1,700,000	37,461	1,566,449	1,603,910	96,090	打合せ旅費37,461、吹奏楽部と音楽家による演奏と講演会1,501,760、記念品等
記念式典パンフ	120,000	0	0	0	120,000	
会場費	700,000	0	614,910	614,910	85,090	会場使用料176,220、音響・照明委託390,550、調律22,110、生花11,000、消毒用品15,030
案内状(郵送、印刷)	1,000	0	0	0	1,000	
記念品郵送費	105,000	45,738	69,034	114,772	△9,772	切手45,738、記念品・記念誌送料
予備費	250,000	0	0	0	250,000	
小計	6,763,000	1,144,853	4,942,883	6,087,736	675,264	

収支差引残額 (収入) 6,087,736 - (支出) 6,087,736 = (繰越) 0円

令和3年7月10日

上記のとおり報告します。

帳簿、通帳など監査の結果、適正と認めます。

会計 後藤 真吾

会計監査

会計監査

川北 秀幸
山鹿 昇

決算報告 (平成31年4月1日～令和3年3月31日)

収入

(円)

科目	当初予算額	補正額	既決予算額	決算	差引	摘要
会費	3,643,200	7,200	3,650,400	3,650,480	△ 80	7,200円× (R 1 : 233+ R 2 : 274人)
雑収入	200	0	200	20,145	△ 19,945	預金利息、寄付
前期繰越	9,859,976	0	9,859,976	9,859,976	0	
合計	13,503,376	7,200	13,510,576	13,530,601	△ 20,025	

支出

科目	当初予算額	補正額	既決予算額	決算	差引	摘要
同窓会報発行費	3,000,000	△ 460,000	2,540,000	2,538,101	1,899	R 1 . 9発行
クラブ激励金	400,000	△ 300,000	100,000	30,000	70,000	全国大会補助等
転・退職職員餞別	200,000	0	200,000	94,110	105,890	R 1 : 8名、R 2 : 10名
総会・会議・通信費	160,000	0	160,000	127,329	32,671	運営・活動・通信
学校教育活動援助費	240,000	1,375,000	1,615,000	1,556,530	58,470	優秀模範生徒表彰、白子高校看板設置工事1,375,550円
創立百周年記念事業繰出金	1,000,000	1,584,000	2,584,000	1,799,013	784,987	100周年記念誌、講演費、記念品等
予備費	8,503,376	△ 2,191,800	6,311,576	11,124	6,300,452	
合計	13,503,376	7,200	13,510,576	6,156,207	7,354,369	

収支差引残額 (収入) 13,530,601 - (支出) 6,156,207 = (繰越) 7,374,394円

令和3年7月10日

上記のとおり報告します。

帳簿、通帳など監査の結果、適正と認めます。

会計 後藤真吾

会計監査

会計監査

川北秀幸

山鹿昇

予算(案) (令和3年4月1日～令和5年3月31日)

収入

(円)

科目	金額	摘要
会費	3,240,000	7,200円× (R 3 : 231+ R 4 : 219人)
雑収入	200	預金利息
前期繰越	7,374,394	
合計	10,614,594	

支出

科目	金額	摘要
同窓会報発行費	3,000,000	
クラブ激励金	400,000	全国大会補助等
転・退職職員餞別	200,000	
総会・会議・通信費	160,000	運営・活動・通信
学校教育活動援助費	240,000	優秀模範生徒表彰等
予備費	6,614,594	
合計	10,614,594	

翌年度繰越額 0



学校の様子

オンライン授業



感染対策を徹底した体育祭



体育館と教室に分かれての学校行事



修学旅行（山梨）



文化祭



同窓会 Q&A

- ◎会費(会計)
- ◎高校との接点等
- ◎総会

現在の役員は最後のページの方々です。

Q 現在の「会員数」はどのくらいですか？

A 母校の前身は旧制河芸高等女学校、その創立は大正九年四月十七日となっています。新制白子高等学校に引き継がれるまでの二十六年間に二、三二二人が卒業しました。

白子高校のスタートは昭和二十三年、令和三年三月までに約三三、〇〇〇人が卒業しました。

河芸高女会員と新制高校会員を合わせると、約二五、二〇〇人となります。

Q 同窓会の「会費」はどうなっていますか？

A 同窓会の会費は在学時に月々二〇〇円を徴収し、三年間の合計が七、二〇〇円、これが終身会費となっています。また、これが収入の総てです。

支出の主なものは、全国大会に出場するクラブの援助、その他の特別な教育活動に対するの補助、優秀生徒表彰品、総会・役員会の経費等として使われています。

また、特に大きな支出としては会報の発行費用で、

今回の会報では約二六〇万円の経費がかかっています。さらに、創立百周年に向け、グラウンドの「LED照明」、部活動の活躍などを掲げる「懸垂昇降機」、式典などに掲げる「校旗」の寄贈を行いました。

Q 同窓会と白子高校の「接点」は？

A 毎年、卒業式の前日に「同窓会入会式」が行われます。同窓会長が入会の祝辞をしています。平成二十四年度から同窓会入会式後に優秀模範生徒表彰が同窓会長から授与され、毎年三十数名ずつ表彰されています。

Q 同窓会と白子高校の「接点」は？

A 毎年、卒業式の前日に「同窓会入会式」が行われます。同窓会長が入会の祝辞をしています。平成二十四年度から同窓会入会式後に優秀模範生徒表彰が同窓会長から授与され、毎年三十数名ずつ表彰されています。

Q 「総会」はいつ開かれていますか？

A 「総会」は二年ごとに開催し、会長・副会長・会計・監査を任命する…と定められています。

学年幹事の皆さまには事務局より案内状を送付していますが出席状況は芳しくない現状です。学年の代表として同窓会の運営に意見を述べ、指針を示していただきたいと思います。

また、一般会員の皆さま方には、この会報が案内となります。

今、白子高校は元気に満ち溢れています。生徒の明るい挨拶は、地元の方々や来校された方々の間でも評判となっています。総会をきっかけに、白子高校に足を運んでみてはいかがでしょうか？

出席を希望される会員の方は、準備の都合もあります。

変更がありましたら、必ず白子高校の事務局までご連絡ください。

【〒五二〇〇二四三 鈴鹿市白子四一七七一 白子高校同窓会事務局 TEL〇五九一三八六〇〇一七】

【本年度の総会】

コロナ禍のため書面決議とさせていただきます。ご異議のある方は、1月14日までに、同窓会事務局にご連絡ください。

結果につきましては、白子高校ホームページを借りて報告させていただきます。

【本年度の総会】

コロナ禍のため書面決議とさせていただきます。ご異議のある方は、1月14日までに、同窓会事務局にご連絡ください。

結果につきましては、白子高校ホームページを借りて報告させていただきます。

【本年度の総会】

コロナ禍のため書面決議とさせていただきます。ご異議のある方は、1月14日までに、同窓会事務局にご連絡ください。

結果につきましては、白子高校ホームページを借りて報告させていただきます。

【本年度の総会】



同窓会役員

会 長	服 部 高 明	高 28
副 会 長	村 木 尚 哉	高 40
副 会 長	久 畑 年 生	高 41
書 記	達 知 利 雄	高 36
会 計	後 藤 真 吾	高 39
会計監査	山 鹿 昇	高 16

会計監査	川 北 秀 幸	高 17
常任幹事長	岩 寄 功	高 07
常任幹事	奥 野 静 生	高 18
常任幹事	日 置 恒 文	高 19
常任幹事	岡 本 晃 宏	高 29
常任幹事	岡 本 昌 宏	高 33

常任幹事	加 藤 丈 晴	高 50
常任幹事	西 尾 佑 輔	高 61
顧 問	村 上 悠 馬	高 52
顧 問	森 雅 幸	高 56

学 年 幹 事 一 覧

[河芸高女]

No.	回	卒業年	氏 名
1	13	昭 11	黒 部 あ い
2	14	昭 12	児 玉 喜 美
3	14	昭 12	谷 内 ひで子
4	17	昭 15	寺 村 志 ず

5	18	昭 16	平 田 喜久代
6	19	昭 17	唯 見 ちゑ子
7	19	昭 17	田 中 あ い
8	21	昭 19	丘 悦 子
9	21	昭 19	中 野 きみ子

10	22	昭 20	西 脇 玲 子
11	22	昭 20	辻 みさ子
12	24	昭 22	中 條 祐 子
13	25	昭 23	佐 野 美枝子

[白子高校]

No.	回	卒業年	氏 名
1	1	昭 26	長谷川 道 子
2	2	昭 27	都 梅 基 治
3	2	昭 27	我 藤 公 勇
4	3	昭 28	松 田 徳 夫
5	3	昭 28	金 子 伊都子
6	4	昭 29	田 中 邦 彦
7	4	昭 29	佐々木 俊 綱
8	5	昭 30	松 城 正 喜
9	5	昭 30	誓 山 信 孝
10	6	昭 31	樋 口 祥 己
11	7	昭 32	宮 崎 敬 子
12	7	昭 32	岩 寄 功
13	8	昭 33	稲 垣 弘 泰
14	8	昭 33	草 野 靖 生
15	8	昭 33	矢 田 泰 司
16	9	昭 34	柘 植 基 一
17	9	昭 34	舟 田 博 治
18	10	昭 35	宇 田 英 毅
19	10	昭 35	河 合 益 男
20	11	昭 36	杉 谷 哲 也
21	12	昭 37	永 田 茂
22	13	昭 38	唐 松 孝 治
23	13	昭 38	中 川 万壽美
24	13	昭 38	松 井 陽一郎
25	14	昭 39	宮 崎 雄 三
26	14	昭 39	佐々木 清 和
27	16	昭 41	梅 川 洋
28	17	昭 42	木 下 哲
29	17	昭 42	奥 田 洋
30	17	昭 42	多 田 美紀雄
31	18	昭 43	桑 名 研 二
32	18	昭 43	奥 野 静 生
33	18	昭 43	鈴 木 幸 男
34	19	昭 44	水 谷 誠
35	19	昭 44	小 林 重 治
36	20	昭 45	北 川 貢
37	20	昭 45	前 田 茂
38	21	昭 46	木 邑 欽 弥
39	22	昭 47	片 岡 直 哉
40	22	昭 47	水 江 則 博
41	23	昭 48	長 谷 昇
42	24	昭 49	田 川 清 美
43	26	昭 51	長 島 正 美
44	26	昭 51	前 原 昭 彦
45	27	昭 52	米 倉 満 幸
46	27	昭 52	平 野 広 美
47	27	昭 52	松 本 みゆき

48	28	昭 53	佐 藤 勝 則
49	28	昭 53	吉 田 玲 子
50	29	昭 54	辻 岡 弘 史
51	29	昭 54	伊 藤 典 子
52	30	昭 55	渥 美 比呂志
53	30	昭 55	岩 谷 和 則
54	30	昭 55	玉 泉 幸 久
55	31	昭 56	内 藤 健 治
56	31	昭 56	前 田 正 也
57	31	昭 56	樋 口 美佐子
58	32	昭 57	大 佛 英 樹
59	32	昭 57	別 府 典 明
60	32	昭 57	中 川 喜 江
61	33	昭 58	益 川 英 明
62	33	昭 58	岡 本 昌 宏
63	33	昭 58	伊 高 美由紀
64	34	昭 59	羽垣内 功
65	34	昭 59	大 島 美 智
66	35	昭 60	宮 原 直 美
67	36	昭 61	内野井 公 一
68	36	昭 61	藤 本 廣 治
69	37	昭 62	山 本 有 恭
70	37	昭 62	新 開 登志江
71	38	昭 63	徳 澄 大 輔
72	38	昭 63	笠 井 めぐみ
73	39	平 01	山 野 義 信
74	40	平 02	村 木 尚 哉
75	40	平 02	中 村 ひとみ
76	41	平 03	杉 野 志 郎
77	41	平 03	田 所 久 実
78	42	平 04	三 谷 英 樹
79	42	平 04	長谷川 悦 子
80	43	平 05	岩 永 大 悟
81	43	平 05	武 田 由美子
82	44	平 06	奥 野 香 裕
83	44	平 06	信 田 麻 記
84	45	平 07	嶋 谷 潤 一
85	45	平 07	廣 森 祐 介
86	45	平 07	奥 山 裕 子
87	46	平 08	土 山 義 嗣
88	46	平 08	蛇 原 千 絵
89	46	平 08	本 岡 朋 美
90	47	平 09	多 武 智 華
91	47	平 09	熊 谷 尚 也
92	47	平 09	木 下 良 一
93	48	平 10	中 濱 厚 志
94	48	平 10	堤 美和子
95	49	平 11	尾 崎 嘉 一

96	49	平 11	生 川 雄 通
97	49	平 11	前 山 幸 美
98	50	平 12	加 藤 丈 晴
99	50	平 12	伊 藤 ゆみ子
100	51	平 13	岩 田 和 久
101	51	平 13	花 尻 聖 士
102	52	平 14	大久保 幸 美
103	52	平 14	岩 崎 久 英
104	53	平 15	鈴 木 一 弘
105	53	平 15	渥 美 雄 一
106	53	平 15	岩 田 可奈子
107	53	平 15	傘 谷 加 那
108	54	平 16	平 田 正
109	54	平 16	金 野 有佳子
110	55	平 17	田 中 良 典
111	55	平 17	加 藤 礼
112	56	平 18	東 大 輔
113	56	平 18	柳 瀬 綾
114	57	平 19	内 田 貴 士
115	57	平 19	藤 本 あや乃
116	58	平 20	横 山 優 磨
117	58	平 20	山 宿 史 織
118	59	平 21	鎌 倉 崇 行
119	59	平 21	佐 野 晴 香
120	60	平 22	中 村 将 吾
121	60	平 22	上 村 恵 子
122	61	平 23	橋 爪 秀 貴
123	61	平 23	前 田 優 兵
124	62	平 24	水 谷 洋 輔
125	62	平 24	金 澤 夏 海
126	63	平 25	打 田 一 真
127	63	平 25	内 藤 優 月
128	64	平 26	杉 永 紗耶佳
129	64	平 26	晒 谷 莉 奈
130	65	平 27	近 藤 愛
131	65	平 27	田 代 大 策
132	66	平 28	大 島 諒 香
133	66	平 28	牧 添 聖 弥
134	67	平 29	川 本 流 勢
135	67	平 29	伊 藤 樹
136	68	平 30	黒 川 花 凜
137	68	平 30	岡 根 貴 紀
138	69	平 31	番 条 晃 大
139	69	平 31	濱 中 香 凜
140	70	令 02	堀 江 巧 人
141	70	令 02	丹 羽 里莉加
142	71	令 03	岡 野 未 空
143	71	令 03	小 倉 三 玖